

2021年12月13日

各位

株式会社 紀陽銀行

「紀陽SDGsボールペン」の使用開始について ～株式会社第一精工舎とのSDGs達成に向けた取り組み～

株式会社紀陽銀行（頭取：原口 裕之）は、株式会社第一精工舎（本社：大阪府大東市、代表取締役社長：石田 恭彦）と連携し、「紀陽SDGsボールペン」を製作のうえ、当行東大阪支店で使用を開始しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

当行では、2019年3月に「紀陽銀行SDGs宣言」を表明し、地域金融機関として自然環境に配慮した商品・サービスの導入、自然環境保護活動を通じて持続可能な地域社会の実現に取り組んでおります。この度、FBI工法（※）の特許を持つ株式会社第一精工舎の技術やノウハウを活かし、当行から排出されるシュレッダー廃材を使用して製作した「紀陽SDGsボールペン」を営業店の窓口等でお客さまにご利用いただくことで、自然環境保護を意識した取り組みをおこないます。

紀陽銀行は、本取り組みを通じてカーボンニュートラル社会の実現に向けた活動を展開することで、地域社会のSDGs達成に貢献してまいります。

（※）FBI工法（フリーブレンド工法）

パウダー状のプラスチック原料と微粉碎した金属、陶器等さまざまな素材を最大70%の高配合で混ぜ合わせ、質感、強度、重量、においなど新たな素材を作り出す工法。

記

1. 紀陽SDGsボールペンについて

当行から排出されるシュレッダー廃材を活用した紙粉入りのボールペン。シュレッダー廃材約5kgでボールペン100本の製作が可能。

2. 株式会社第一精工舎について

住 所	大阪府大東市御領2丁目2-7
代 表 者	石田 恭彦
事業内容	プラスチック成型品製造
設 立	2001年10月15日
従 業 員	110名

3. 使用する営業店

東大阪支店 ※今後順次拡大していく予定。



<紀陽SDGsボールペン>

以上

本取り組みは、SDGs（持続可能な開発目標）のゴール12「つくる責任、つかう責任」、ゴール15「陸の豊かさを守ろう」、ゴール17「パートナーシップで目標を達成しよう」につながる取り組みです。

